

第4章 幼稚園の現状と課題

1. 幼稚園の保育状況

平成23年度における園児数は、市立幼稚園に358人、私立幼稚園に313人（市外の幼稚園を含む）の合計671人であり、3～5歳児総数1,350人の約49.7%が幼稚園に就園しています。

また、4歳・5歳児で見ると、565人が幼稚園に就園しており、4歳・5歳児総数は922人となり約61.3%になります。少子化の進行により幼児数は減少傾向にありますが、この数字を見ても、幼児教育に占める幼稚園教育の役割及び重要性は依然として大きなものであると考えられます。

2. 幼児の人口推移と現状

幼児の人口は、那珂市における近年の幼稚園該当児数（3～5歳児）の推移をみると、平成17年は1,544人でしたが、平成19年は1,449人、さらに平成23年は1,350人となり、少子化の進行による減少傾向は、今後も変わらないものと想定されます。加えて、市街地以外の幼児が著しく減少していることも大きな問題となっており、市では適切な規模による教育環境を維持するために、平成15年は本米崎幼稚園、平成22年には戸多幼稚園と木崎幼稚園を閉園しました。

平成 23 年度園児数

(単位：人)

	幼稚園名	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
市立幼稚園	横堀幼稚園		19	20	39
	額田幼稚園		23	20	43
	菅谷幼稚園	15	70	51	136
	菅谷西幼稚園		31	25	56
	五台幼稚園		18	13	31
	芳野幼稚園		31	22	53
	市立計	15	192	151	358
私立幼稚園	大成幼稚園	49	46	32	127
	さいせい幼稚園	4	14	12	30
	ナザレ幼稚園	26	48	43	117
	市外	12	14	13	39
	私立計	91	122	100	313
合計		106	314	251	671

(平成 23 年 5 月 1 日現在)

※ただし、市内に住所のある園児のみの人数

幼児数 (0~4 歳) の推移

(単位：人)

	平成 7 年	平成 17 年	平成 19 年	平成 21 年	平成 23 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年
0~4 歳	2,407	2,330	2,259	2,212	2,147	1,595	1,432	1,306
総人口	54,794	56,607	56,493	56,261	55,949	52,401	50,625	48,570

(4 月 1 日現在の住民基本台帳より)

※平成 27 年以降は国立社会保障人口問題研究所の推計

幼稚園該当児数の推移

(単位：人)

年齢	平成 17 年	平成 19 年	平成 21 年	平成 23 年
3 歳児	495	480	422	428
4 歳児	511	461	473	498
5 歳児	538	508	515	424
計	1,544	1,449	1,410	1,350

(4 月 1 日現在の住民基本台帳より)

3. 施設の老朽化・狭隘化

市立幼稚園の園舎は、最も古い横堀幼稚園では39年、最も新しい菅谷西幼稚園でも32年が経過しています。

この間、菅谷幼稚園では園舎の一部建て替えなどを行ってまいりましたが、その他の園舎については破損箇所の修繕で対応してきたため、建物や設備の老朽化が顕著になっています。

また、当初は5歳児のみの1年保育を想定して建築した園舎のため、平成2年度から実施となった4歳・5歳児の2年保育により、園庭も手狭な状況となっています。

さらに、駐車場についても、今日の車社会に十分な対応ができていない状況です。

以上のように、幼稚園では、施設の老朽化、園庭等の狭隘化など多くの問題を抱えており、将来を見据えた教育環境の整備が求められています。

施設の概要

幼稚園名	構造	建築年	敷地面積	園舎面積	Is 値	備考
横堀幼稚園	鉄骨造平屋	昭和47年	1,386 m ²	262 m ²	0.15	平成23年12月 取壊し
額田幼稚園	鉄骨造平屋	昭和52年	2,310 m ²	302 m ²	0.21	
菅谷幼稚園	鉄骨造平屋	昭和52年	4,194 m ²	535 m ²	0.24	平成10年10月
	木造	平成10年		178 m ²	—	増築及び一部取壊し
菅谷西幼稚園	鉄骨造平屋	昭和54年	3,002 m ²	350 m ²	0.33	
五台幼稚園	鉄骨造平屋	昭和48年	2,718 m ²	314 m ²	0.27	平成23年12月 取壊し
戸多幼稚園	鉄骨造平屋	昭和47年	1,586 m ²	296 m ²	—	平成22年3月 閉園
芳野幼稚園	鉄骨造平屋	昭和52年	2,930 m ²	318 m ²	0.19	
木崎幼稚園	木造平屋	昭和48年	1,455 m ²	166 m ²	—	平成22年3月 閉園

※Is 値は、建物の耐震性能を表わす指標で、震災前の診断数値

4. 震災後の施設の現状と課題

平成23年3月の東日本大震災では、すべての園が甚大な被害を受けています。特に、横堀幼稚園と五台幼稚園は修復困難となり、園舎を解体して仮設園舎を設置します。また、比較的被害の軽い4園についても、耐震性能が不足しているため、地震時に倒壊しないような整備を進めます。

今後は、園舎の新築や耐震化など、将来を見据えた教育環境の整備が必要です。

5. 3年保育の現状

市立幼稚園では、平成15年度から菅谷幼稚園で、試行的に実施しています。定員15人に対し多数の申込があり、例年抽選により入園者を決定しています。学区制をとっている市立幼稚園では、菅谷幼稚園学区以外からは申込みはできず、「公平性を欠く」との指摘が寄せられています。

6. 預かり保育の現状

市立幼稚園では、平成15年度より各園で原則10名以上の申し込みがあった場合に、通常保育後の午後2時30分～午後5時までの時間帯で実施しています。現在、すべての園で実施されており、ニーズの高さが伺えます。

7. 特別支援教育の現状

那珂市の幼稚園では、発達障がいのある園児に対して、遊びや生活上の介助・支援などを行うために障がい児指導員を配置しています。また、平成15年度からは菅谷東小学校内に幼児の教育相談室を開設し、こころやことばの発達問題等の保護者相談や園児の指導にあたっており、相談件数や通級児数は増加しています。

幼児教育相談室への教育相談件数及び通級児数 (単位：人)

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	
教育相談(新規のみ)	21	18	20	21	22	19	12	35	
通級児数	28	24	29	33	32	37	33	44	
内 訳	言語(構音・吃音)	5	3	7	7	3	5	6	7
	言葉の遅れ	1	1	2	1		1	1	6
	情緒(発達の遅れ)	20	18	19	24	29	29	22	30
	ダウン症	2	2	1	1			1	1
	肢体不自由						1	1	1
その他						1			